

正しい言葉遣いをしよう

生活指導部 井波尚子

2月の生活目標は「正しい言葉遣いをしよう」です。

日本語は美しい言葉ですが、普段から意識して使っていないと大切なときに戸惑ってしまい、時と場に応じた使い方ができないことがあります。

例えば、あいさつに着目すると時間や季節に関するたくさんの素敵な言葉があります。その素敵な言葉を正しく使いこなすには学習や練習が必要です。

言葉遣いが丁寧で正しい人は話す相手にとっても良い印象を与えます。そして、素敵な印象を持ってもらえます。

学校生活の中で普段から互いに正しい言葉遣いを意識することで友達とのコミュニケーションが円滑に行うことができた実感できるよう指導をしています。

御家庭におかれましても御理解と御協力をお願いいたします。



副校長より

「日本のよさと言葉の力」

副校長 菊原 寛之

ある有名な科学者は日本が大好きだったそうです。世界の平和を願っていたこの科学者は、日本を以下のように言っています。

「日本人のすばらしさは、きちんとした躰や心のやさしさにある」

「日本人は、これまでに知り合ったどの国の人よりも、うわべだけでなく、すべての物事に対して物静かで控えめで、知的で芸術好きで思いやりがあつて非常に感じのよい人たちです」

一体この科学者はだれでしょう。正解はアインシュタインです。アインシュタインが世界中の国をまわり、日本人が一番と言っています。その裏には、アインシュタインが日本に来たとき、出会ったすべての人たちが、礼儀正しく、そして思いやりにあふれたおもてなしをしたからでしょう。

たくさんの外国人が日本に来て、その礼儀正しさや美しい立ち振る舞いに感動して日本を大好きになってくれます。

他国の子供たちの中には、次のような言葉で親から叱られることが多いと言われています。

「あなたの口は、心と脳とほかの部分ともつながっているのよ」

人の行動は、言葉遣いに表れるということです。よい言葉を使っている人は心が美しい人になると思います。逆に、汚い言葉を使えば行動も乱暴になり、美しさとは程遠くなります。毎日の学校生活の中で「丁寧な言葉遣い」を意識して使っていくように指導していきます。丁寧な言葉、美しい立ち振る舞いなど日本のよさを受け継いでいきたいです。

私が言葉の大切さを考え始めたのは、英国の元首相マーガレットサッチャーさんの言葉に出会ってからです。その言葉とは「思考は言葉になり、言葉は行動になり、行動は習慣になり、習慣は人格となり、人格は運命になる」です。

御家庭や地域でも日本のよさや言葉について、話題にしていただけると幸いです。よろしく願い申し上げます。

